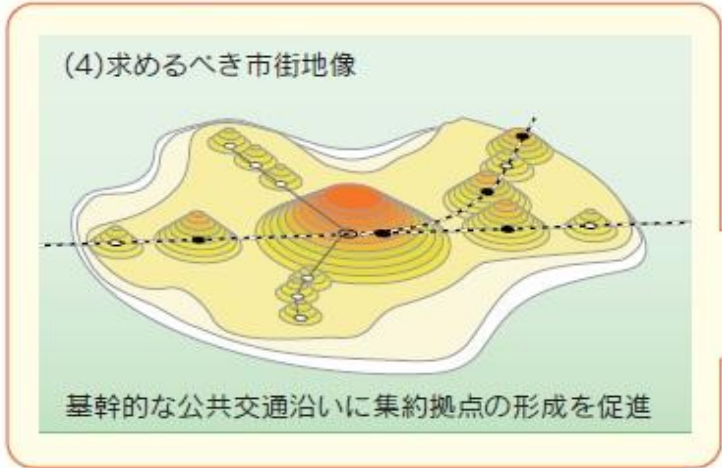
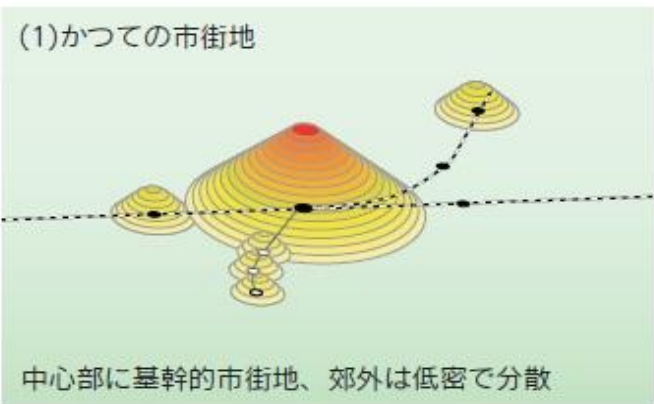


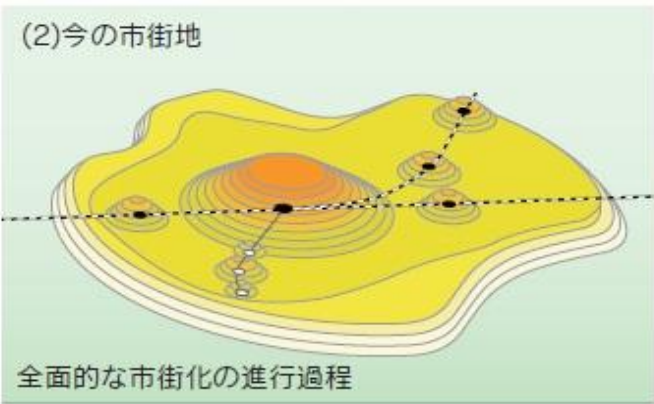
# 中心市街地の活性化はなぜ必要か？

今後、望まれる拡散型から集約型都市構造への再編イメージ

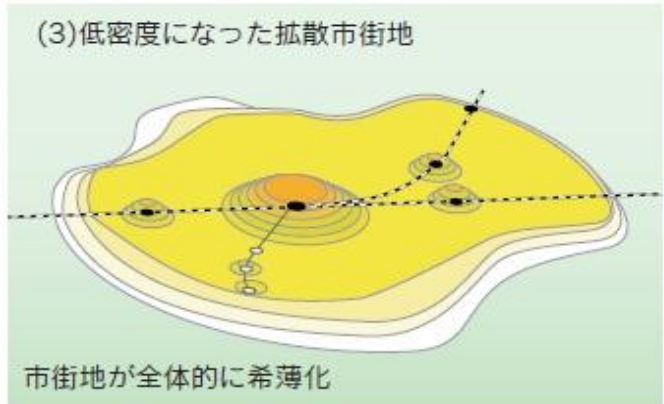


今までの市街化の傾向

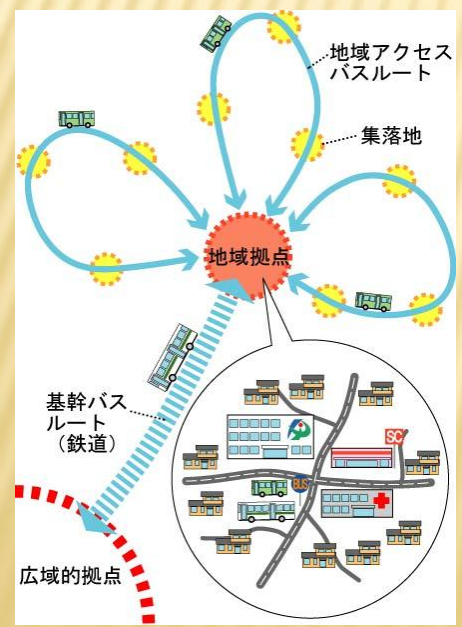
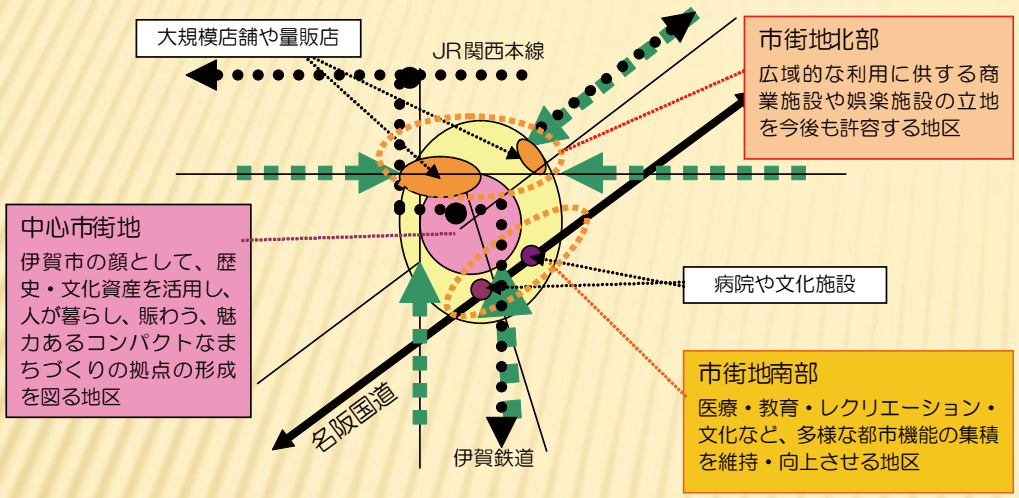
都市構造改革



低密化を放置



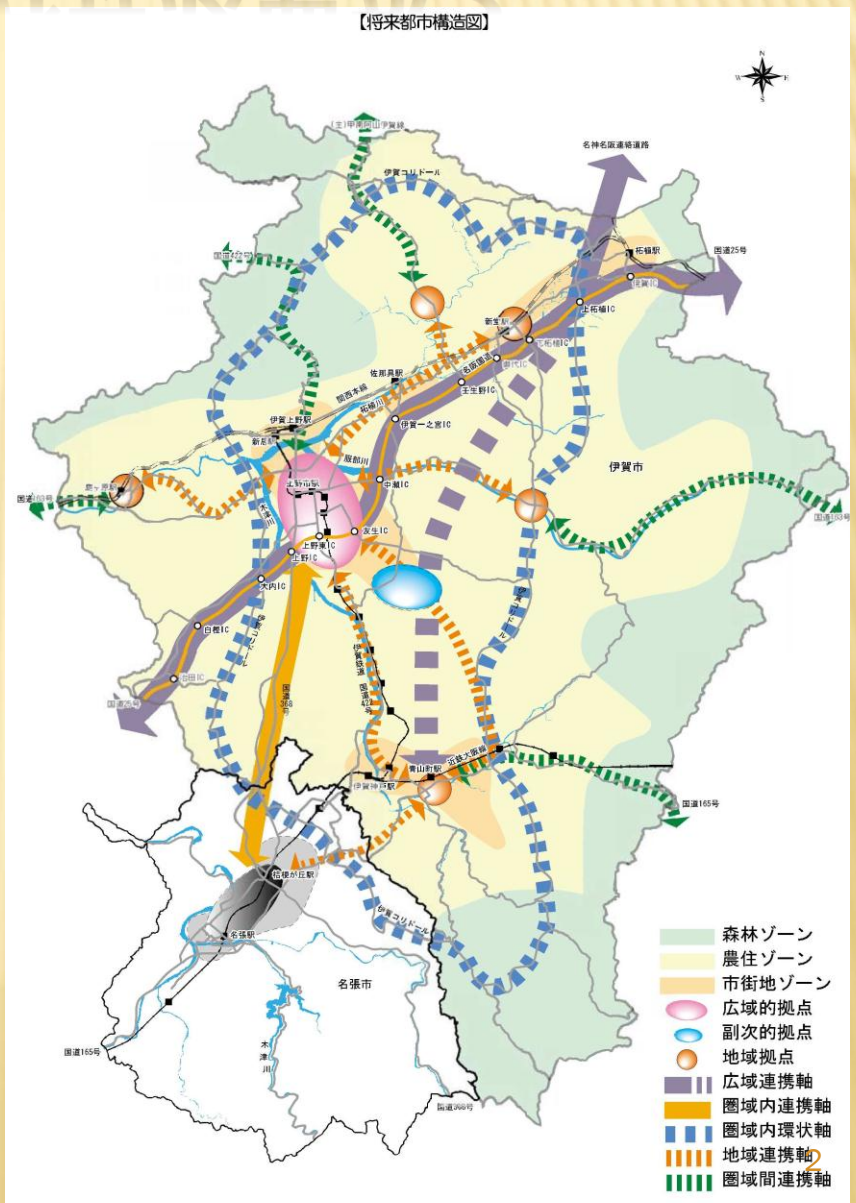
# 中心市街地の活性化はなぜ必要か？



↑  
広域的拠点

←地域拠点

地域連携図→



# 取り組みの経過

## ◆ 認定期間

- ◆ 第1期計画：H20.11～H26.10（6年）
- ◆ 第2期計画：計画策定委員会（平成25年度）

◎ 第1期計画の評価、課題の検証

◎ 「伊賀らしさ」のPR

⇒ 歴史や文化、伝統に根ざした商いや生活にこそ魅力がある！

⇒ 他の地域が今から真似しようとしてもできない = 他との差別化

◎ ターゲットを絞った事業展開

**計画案にランドデザインの内容を反映 ⇒ 認定**

# 具体的な手法は？

## ◆中活計画、歴まち計画認定のメリット

### メリット① 国の重点的な「財政支援」

中活計画…国土交通省、経済産業省、総務省など  
歴まち計画…国土交通省、文化庁、農林水産省

⇒市（市民）の負担を減らす

### メリット② まちづくりイメージ、将来像の共有

法定協議会の設置…市民や民間事業者の参画が必須

⇒まちづくりへの連帯感、継続性を創り出す